

2025 年度 KOBE ゼロカーボン支援補助金 採択結果

2025 年度募集（募集期間：2025 年 3 月 14 日～4 月 30 日）では、スタンダード枠（補助上限額 100 万円、ただし先進的な技術開発を伴う活動は 300 万円）50 件、学生枠（補助上限額 20 万円）9 件の計 59 件の応募がありました。

審査の結果、35 件（スタンダード枠 26 件、学生枠 9 件）の活動を採択し、補助交付を決定しました。

○スタンダード枠（先進的な技術開発を伴う活動 補助上限額 300 万円）

計 4 件

	申請者	活動の名称
1	六甲バター株式会社	工場から出るチーズ廃棄物から作るチーズ発酵肥料の製品化に向けたテストおよび QBB エコシステムの確立
2	一般社団法人 須磨里海の会	海草藻類を利用したブルーカーボン増大事業
3	神戸市公立大学法人（神戸高専）、東亜建設工業株式会社	電動小型海底耕うん機の開発・運用
4	白鶴酒造株式会社	発酵由来 CO2 を活用した省エネルギー型室内農業

○スタンダード枠（補助上限額 100 万円）

計 22 件

	申請者	活動の名称
1	一般社団法人一十土	竹の力で暖まる！持続可能な温水床暖房体験ワークショップ
2	特定非営利活動法人 P V ネット兵庫 グローバルサービス	自然と共生する都市型小水力発電所の森における都市山整備と山林資源活用
3	和田 涼司	放置竹林、間伐を利用してのワークショップ
4	工藤 祥	農用林・薪用林として里山林を復活せよ！
5	兵庫漁業協同組合	兵庫運河の藻場・干潟と生き物の生息場作り
6	中井 一夫	須磨区白川地区 里山整備活動
7	伊與田 安正、増井 良夫、久野木 淳一、高田 知紀	上穂川フィールドの再生・活用
8	倉内 敏章、稲垣 将幸	コーヒーきのご実験
9	社会福祉法人すいせい	障害者就労支援事業が協働する神戸市内 SDGs 事業連携モデル
10	中村 淑樹	神戸の里山放置林の森林整備による二酸化炭素吸収・固定化促進事業(4 年目)
11	上垣内 賢司	ゼロカーボン×里山スイーツで学ぶ：KIDS 未来への物語
12	砂田 安菜	廃材×デザインで広げる、循環型ライフスタイル実証事業
13	SINGH RAJEEV KUMAR、小池 春伽	竹のチカラでつくるゼロカーボン社会 ～白川から始める持続可能な暮らし～
14	佐藤 智帆	おやこ海じかん ～ひろってつくる未来～
15	NPO 法人 KOBE CRAFT WORKS	竹炭活用のバイオトイレ設置ワークショップ&竹活用イベント開催

16	社会福祉法人縦の木福祉会	耕作放棄地での緑肥栽培を通じた有機農業の実証事業
17	山崎 正夫	海と山を繋ぐ、神戸らしい脱炭素社会プロジェクト
18	NPO 法人 須磨ユニバーサルビーチプロジェクト	KOBE タケノコメンマプロジェクト
19	石田 篤	神戸におけるカーボンファーマーミングの普及
20	合同会社廃屋	古材を再資源化、素材を活かし捨てない社会へ
21	合同会社神戸白黒	まもってそだてる森づくりプロジェクト
22	角野 史和	地産地消の野菜づくり・堆肥づくりによる循環型地域住環境整備事業

○学生枠（補助上限額 20 万円）

計 9 件

	申請者	活動の名称
1	グエンフックハイタアン、ホアカムトゥー	留学生と考える神戸発ゼロカーボン発信プロジェクト
2	中原 由香利、金子 太新、安藝 大智、清水 勇輝	学生団体 Re.colab KOBE による里山ゼロカーボン再生事業を発端とする啓発活動
3	藤田 凌伍	Bamboo に Thank you Project
4	高須賀 泰雅	キャンパスコンポストプログラムの構築：排出削減と持続可能性の推進
5	寺本 想真	「KOBE から、わたし発」——暮らしのエコヒントプロジェクト
6	川向 宇瞳、別所 綱、川向 世瞳、坪田 皓斗	MANTAN プロジェクト
7	菅野 佑志、成澤 瑞稀、山口 紗英、安藤 陸都	丸山改修プロジェクト
8	根来 真弥、田中 愛奈	地球温暖化対策の概要と神戸大学農学部での取り組みについての紹介
9	門 雅稀	インスタグラムを用いた神戸市里山材の流通促進に向けた周知活動

【参考】採択活動の概要

＜スタンダード枠（補助上限額 300 万円）＞

六甲バター株式会社 本来廃棄されるロスチーズを「チーズ発酵肥料」に作り変え、焼却による CO2 の削減を目指す。また、市民向けのワークショップを開催し、脱炭素の取組みを発信する。
一般社団法人 須磨里海の会 須磨海岸における藻場拡大の取組みと藻場拡大のための環境調査や効率化技術の検証を行う。また、活動内容の発信や出前教室など啓発イベントを開催する。
神戸市公立大学法人（神戸高専）、東亜建設工業株式会社 小型の海底耕うん機を開発し、ブルーカーボン活動の加速、効率化を実現し脱炭素活動の底上げを行う。また、企業・自治体と連携し公民それぞれに向けた情報発信を行う。
白鶴酒造株式会社 清酒製造で発生する CO2 を植物(ハーブ)の成長促進として再資源化し、化石燃料の利用を削減する。また、施設内に本活動に関する展示や栽培したハーブを原料とした酒の試飲イベントを開催する。

<スタンダード枠（補助上限額 100 万円）>

一般社団法人一十土 北区大沢町において竹林整備をおこなうとともに、竹ボイラーを導入し、温水床暖房体験や沸かしたお湯を利用した足湯体験を通じて、家庭での省エネに向けた行動変容を促す。
特定非営利活動法人 P V ネット兵庫グローバルサービス 灘区六甲川の小水力発電設備設置エリア周辺の放置竹林整備に加え、バイオ炭や木材チップの製造をおこなう。また、小水力発電の見学やグリーンウッドワークショップ、自然エネルギーの普及をテーマとしたフォーラムなどを開催する。
和田 涼司 長田区長者町において、放置竹林の整備を行い、子ども向けに間伐材を使用したランタン作りなどのワークショップを開催し、子ども達にも伝わるようなわかりやすい説明で、カーボンニュートラルへの理解を促す。
工藤 祥 北区大沢町において森林整備を実施し、間伐材をシイタケ栽培や薪割体験などのイベントで活用する。イベントの中で資源循環や農村森林問題に関する座学を行い、市民の意識醸成を図る。
兵庫漁業協同組合 兵庫運河でブルーカーボン事業としてアマモの播種や移植、藻場・干潟の保全に継続して取り組む。また、幅広い年代向けに学びと体験の機会を提供し、環境に対する意識向上を目指す。
中井 一夫 須磨区白川地区の森林整備を実施し、バイオ炭やキノコのほだ木作りなどを行う。伐採した樹木や竹を活用したワークショップを開催し森林整備の必要性を啓発する。
伊與田 安正、増井 良夫、久野木 淳一、高田 知紀 須磨区多井畑において放置竹林の整備を行い、ポラス竹炭を製造し CO2 の固定化を図る。また、市民向けに竹の再資源化をおこなう体験プログラムを実施し、脱炭素や循環型社会について学ぶ機会を提供する。
倉内 敏章、稲垣 将幸 廃棄されるコーヒークずと米ぬかを活用したきのこ栽培により再資源化に取り組む。また、地域住民を対象とした収穫体験を開催し、廃棄物がどのように資源化され、脱炭素につながっているのかを学ぶ機会を提供する。
社会福祉法人すいせい 障害者を含む参加者による竹林整備、竹炭の製造を実施する。また、ものづくりワークショップを通じて脱炭素に関する学びを深める。
中村 淑樹 北区小河山林の森林整備や伐採木の活用等で、森林吸収源対策に貢献する。また、森林整備の参加者及び見学者に森林再生能力の高さや里山林との関わりについて体感する機会を提供する。
上垣内 賢司 北区淡河町にある活動拠点において V2H 機器を導入し、再エネ電力を活用したクッキングイベントやワークショップの開催で、体験を通じた脱炭素の機運醸成を図る。
砂田 安菜 再資源化の取組として、廃材を利用したジュエリー製作を行う。また、製作したジュエリーの展示会において、脱炭素行動に繋がるライフスタイルの転換を後押しし、行動変容を促す。
SINGH RAJEEV KUMAR、小池 春伽 須磨区白川地域の竹林整備を実施し、竹チップ及び竹パウダーを製造する。また、幅広い世代が参加できる竹細工づくりのワークショップを開催し、脱炭素に繋がる暮らしを学ぶ機会を提供する。
佐藤 智帆 須磨海岸において、親子で参加するビーチクリーン活動を実施し、回収した素材でオリジナル作品を制作する。また、拾ったごみが資源となる実体験を通じて、脱炭素ライフスタイルの重要性を親子で学ぶ機会を創出する。

NPO 法人 KOBE CRAFT WORKS
北区淡河町の竹林整備を行い、竹を活用したバイオトイレの設置やプラスチック製品を使わない脱プラスチックなどの開催を通じて、竹林整備の必要性を啓発していく。
社会福祉法人樅の木福祉会
西区神出町の耕作放棄地において緑肥栽培を実施し、土壌の炭素貯留を促進する。また、障害者を含む近隣住民に栽培・収穫体験を提供しゼロカーボンについて学ぶ機会を創出する。
山崎 正夫
須磨区横尾緑地において森林整備を行うとともに、薪づくり、バイオ炭づくりなどの活動や、講師を招いたトークイベントを開催し、脱炭素の取組みを啓発する。
NPO 法人 須磨ユニバーサルビーチプロジェクト
須磨区多井畑において、放置竹林の整備を行い、若竹を活用したメンマの製造を行う。また、竹林整備、メンマ仕込みなどのイベントを開催する。
石田 篤
農業関係者に向けた土壌の炭素貯留型の栽培方法(カーボンファーミング)を学ぶことができるプログラムを開発する。また、実際に炭素貯留型の畝づくりを実践するワークショップを開催する。
合同会社廃屋
廃棄される古材や家具などを資源として再活用することで、新たな伐採や焼却による CO2 の排出抑制などに貢献する。また、古材利活用の勉強会やワークショップなどを開催する。
合同会社神戸白黒
北区長尾町の森林整備を実施し、間伐材を活用したバイオ炭の製造や竹炭を活用した商品開発に取り組む。また、市民や学生を対象とした炭焼き体験や自然素材を活用したワークショップを開催する。
角野 史和
長田区と垂水区の空地を利用した交流菜園において、堆肥場を整備し廃棄される刈草や野菜くずから堆肥を製造する。また、堆肥づくりのワークショップを開催するとともに、活動のネットワークを拡大していく。

<学生枠>

ゲンフックハイタアン、ホアカムトゥー
神戸市が進めている脱炭素に関する取組みや日常生活の中で実践できる行動を SNS を通じて紹介し周囲の機運醸成を図る。
中原 由香利、金子 太新、安藝 大智、清水 勇輝
SNS やワークショップを通じて「ゼロカーボン・ファーム」の実現に向けて活動する自分たちの姿を発信し、周囲の機運醸成を図る。
藤田 凌伍
竹林整備や竹製品の開発をおこなうとともに、SNS を通じて自らの活動を発信し放置竹林問題について啓発し、周囲の機運醸成を図る。
高須賀 泰雅
大学内にコンポストを設置し、有機廃棄物を堆肥化させるとともに、コンポストに関するワークショップを開催し環境問題に対する理解促進と参加意識向上を促す。
寺本 想真
地域にある銭湯が取組んでいるエコ活動取材し紹介するとともに、日常生活のちょっとした脱炭素につながる行動を、SNS を通じて発信し、周囲の行動変容を後押しする。
川向 宇瞳、別所 綱、川向 世瞳、坪田 皓斗
建築廃材を活用した土壁左官や建具制作などのワークショップを開催するとともに、SNS を通じてワークショップの風景や廃材活用の魅力を発信し、周囲の機運醸成を図る。
菅野 佑志、成澤 瑞稀、山口 紗英、安藤 陸都
竹林整備と竹を活用した建具、家具などを制作するとともに、本活動の様子、SNS を通じて発信し、活動への参加を呼びかけていく。

根来 真弥、田中 愛奈

オープンキャンパスに来た高校生に対して、脱炭素に繋がる研究(米ぬかを用いた化粧品や食品の開発)をポスターやチラシなどを用いてわかりやすく説明し、機運醸成を図る。

門 雅稀

里山の機能や資源活用に関する取材をおこなうとともに、自身の里山材の利用に関する活動を、SNS を通じて発信し、機運醸成を図る。